

みんなで読もう！ 1000万冊！ 読書キャンペーン



やましろの小・中学校の実践例



『読書で富士登山！ 楽しみながら読書量増加』

- ◎冊数とページ数を記録。3776ページで富士山に1回登頂成功。
- ◎児童それぞれの登頂回数と、学級合計の登頂回数を校内に掲示。楽しみながら読書量を増やす。
- ◎児童委員会が集計作業に加わり、キャンペーン参加の実感を味わう。

『1冊読んだらシールを1枚 一目で分かる横長グラフ』

- ◎1冊読み終わったら、児童が自分でグラフにシールを貼る。ロール紙に書いてあるので、グラフがどんどん横長に伸びて、意欲も伸びる。
- ◎グラフを見れば、月ごとの集計も簡単にできる。

『家庭で読んだ本も 読書冊数にカウント』

- ◎児童一人一人が持っている読書記録ファイルには、学校で読んだ本に加えて家で読んだ本も記入。そのことで、家庭での読書活動にも弾みがつく。
- ◎身近に本がある環境を作るため、公立図書館の集団貸出も利用して、学級文庫を充実させる。

『学校図書館の貸出冊数を 確実に登録』

- ◎貸出カードをもとに担任が学級の読書冊数をカウント。
- ◎全校集計、登録は、図書館教育担当者が行う。
- ◎月末の集計で、節目をはっきり。

児童生徒 読書活動・記録

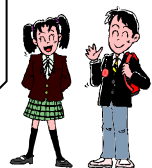
学級で！ 学年で！ 学校で！ 集計作業

担任の先生、読書担当の 先生、司書の先生・・・で 登録作業

『学級担任→学年→図書部 校内連携で集計・登録』

- ◎月末に、学級それぞれで読書冊数をカウント。
- ◎図書担当が学年分を集約→図書部で全校集計と登録。
- ◎毎日の「朝の読書」を大切に。生徒の読書習慣をしっかりと育てる。
- ◎図書館教育の研修が教職員の協働体制

各学校（園）の 目標冊数へ



☆創意工夫ある取組を進め、各学校の取組やアイデアを
キャンペーンホームページの「掲示板」へ書き込みましょう。

京都府山城教育局